

受講者

指導者

実施日

⑥ 日計表

A 優先度 高 — 日常業務の基本操作と、金銭・売上管理に関わる

動画+資料	1.0 時間
実務確認	1.0 時間
合計	2 時間

1

動画を見る

動画 未作成

☐

2

この資料で確認する

動画を見ながら書き込む

☐

3

実務で受ける

社員が横について確認

☐

お会計時

- レジ前のメモ紙に、支払方法(現金／クレジット／PayPay)と、保険分・自己負担分・物販を分けて書く。
- 物販にはテーピング、紹介状、診断書、CBDオイル施術などが含まれる。

レジ締め — 差異チェック

- 現金・クレジット・PayPayごとに、保険分／自己負担分／物販の合計を計算しメモ紙に記録。
- POSの 管理パネル → 日計 で、現金・クレジット・電子マネー(PayPay)の表示額と照合する。

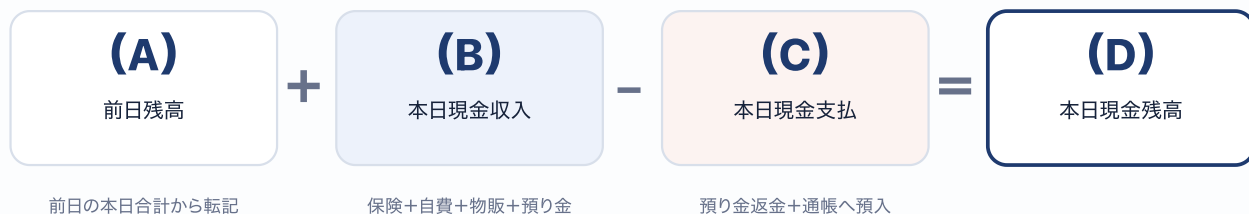
レジ締め — POS操作

- 管理パネル → レジ金管理 → 入出金締め。
- レジ内の金額を数え、差引金額が 0 であることを確認 → レジ締めにタッチ。

日計表の記入

- 1 記入ミスは全書き直しになるため、**まずシャープペンで下書き**する(消し忘れに注意)。
- 2 (A) 前日残高 ... 1営業日前の「本日合計」から転記。
- 3 (B) 本日現金収入合計 ... 保険窓口収入+自費窓口収入+物販収入+預り金入金。
- 4 (C) 本日現金支払合計 ... 預り金返金+通帳へ預入。
- 5 **(D) = (A) + (B) - (C)**
- 6 自費収入には 動画付き回数券・治療回数券各種・パーソナルトレーニング回数券 が含まれる。
- 7 通帳へ預入は **月曜と金曜に仙台銀行**(両替の岩手銀行とは別)。

残高の計算



非現金収入

- クレジット(エアペイ)・PayPayも、保険分と自己負担分に分けて記載。
- 自賠責収入 ... らっく院で保険種別を自賠のみ選択し、表示料金を合計。
- トレーナー費 ... 全体LINEのURLから請求書の合計金額を記載。複数件は合算、内訳は不要。
- EMS会費収入 ... 現在は取扱いなし。記載しない。
- その他収入 ... 詳細欄に内訳を書く(例:¥6,000／内訳 ¥2,000カード、¥4,000PayPay)。

現金の取り出しと金種内訳

- 1 レジ金を ¥56,700 にするため本日の現金収入を取り出し、売上袋の白封筒へ。金額と金種内訳を封筒に記載。
- 2 硬貨が50枚を超えると手数料が発生するため枚数に注意。
- 3 売上袋のメモ紙に金種を記載。枚数は前日分に加算していく。
- 4 日計表の金種内訳は、レジ金庫内+売上袋内の合計。釣銭は ¥56,700、現金小計は売上袋内の合計、本日合計はその和。
- 5 記載後、担当者欄に名前を記入し責任者にサインをもらう。

入金伝票・報告・保存

- 1 仙台銀行の入金伝票に、口座科目「普通」・店番・口座番号を記入(番号は別紙①を参照)。
- 2 現金収入を金額欄に**右詰**で記入。頭に ¥ をつける。
- 3 AdobeScanでスキャンし全体LINEへ報告。サイン未なら責任者にメンションで確認依頼。
- 4 EPSONで スキャン → クラウド → Googleドライブ。日付を右端に合わせて置く。
- 5 EpsonConnect に保存されるので、ファイル名を日付に変更し 共有アイテム → 日計表接骨院 → 該当年月へ移動。
- 6 日計表は残り**10枚**程度でPDF「新日計表(接骨院)」を印刷。伝票は銀行窓口でもらう。

銀行の使い分け

用件	銀行	タイミング
売上の入金	仙台銀行	月曜と金曜
硬貨の両替	岩手銀行	翌日の午前中／必ず2人で

銀行が異なるので注意。硬貨が 50枚 を超えると手数料が発生する。

確認チェック

- ☐ (D)の計算式を書ける
- ☐ 自費収入に含まれるものを**3つ**挙げられる
- ☐ 通帳への預入の曜日と銀行名を言える
- ☐ 硬貨**50枚**超で手数料が発生することを知っている
- ☐ スキャンした日計表の保存先を言える
- ☐ 日計表を一人で記入し、責任者のサインまで進められる

気づいたこと・質問

実施日

年

月

日

受講者

指導者